

かゑらじと かねて思へハ 梓弓

なき敷に入る 名をぞとどむる

四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第136号

令和3年11月9日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

10/10 東大阪市で開かれた正行かるた大会に協力

**かるた名人に輝くのは誰だ！**

＝ 小楠公一代記パネル展で解説担当 ＝

● 「今日は楽しかった」と子どもの声 ●

10月10日(日)、午前10時から、盾津鴻池公民館(東大阪市鴻池町1-18-19)で、一般社団法人河内観光局主催「三世代で交流し地域の歴史を楽しく学ぶ集い in 東大阪2021」(子どもゆめ基金助成活動)が行われ、「かるた名人に輝くのは誰だ！」と題して、楠正行かるたを使ったイベントが開催されました。

このイベントは、令和1年11月に四條畷市下田原集会所で開催した「楠正行かるた遊び」の第2弾事業で、前回同様、今回も四條畷楠正行の会の全面協力で行われたものです。



この日、四條畷楠正行の会から国府事務局長、木村、下野、国府文江そして扇谷が指導者として参加し、地元の自治会会長や老人会会長、子ども会会長らと指導にあたりました。

1部のかるた遊びの予選・決戦では、字札読みや各班の判定等を担当、字札が詠まれると、室内には子どもたちの「はい！」の大きな声が響きました。

2部の映像スクリーン紙芝居「楠正行かるたを使った楠正行の生涯」は、かるた遊びをした後の事で、少し楠正行への理解が進んだものか、参加した15人の子どもたちは食い入るようにスクリーンにくぎ付けになりました。

3部のワークショップでは、最初予選を行った4つの



班に分かれて、子どもたちと大人が入り、四條畷楠正行の会のメンバーが進行役を勤め、四條畷の合戦では東大(写真左:参加した子ども15人と地元スタッフの皆さん、写真右上:字札を詠む扇谷と予選の一コマ、写真右下:字札を詠む国府さんと判定する木村さんによる決戦の様子)

阪市の河内往生院に本陣をおいて出陣した楠正行や地域の歴史・文化について親子孫3世代の交流を深めました。

この日、かるた大会で入賞した児童は以下のとおりです。

◇優勝 松本嘉康くん(4年生)

◇準優勝 寺垣治真くん(3年生)

◇3位 栗須 麗さん(3年生)

◇4位 大谷侑愛さん(2年生)



(写真:映像紙芝居「楠正行の生涯」で映し出されるスクリーンにきぎ付きの子どもたち)

この日は、地元警察の方が来られ、子どもに交通安全を呼び掛ける一幕もあり、参加者全員に大判の絵札をプレゼント、そして正行かるたの解説資料と小楠公一代記のチラシを配り、散会しました。

帰途、会場を出る前に、「今日は楽しかった。」と嬉しそうに語ってくれる女子児童の笑顔に接し、疲れが一気に吹き飛びました。

### ● 展示解説を熱心に聞き入る来館者 ●

10月15日(金)から31日(日)の2週間、大阪府立中央図書館1階エントランスホール(東大阪市)で、一般社団法人河内観光局主催のパネル展「小楠公一代記」が開催され、四條畷楠正行の会から「小楠公一代記」「小楠公真筆集」等のパネル26枚を提供しました。

また四條畷市の協力を得て、吉野朝ゆかり自治体の河内長野市、東大阪市、四條畷市から楠氏関連等の観光パンフレットの展示と配布、そして楠正行かるたや正行像賛扇子・ブックレット小楠公などの関連グッズの展示・販売も行いました。小説「楠正行」を買い求めている方に、展示解説で会場にいた扇谷が書籍にサインするというサプライズもありました。

15日から17日の3日間、午前10時と午後2時の2回、計6回の展示解説には、土井、国府、下野そして扇谷が参加しました。

展示解説に熱心に聞き入る来館者の中には、解説が終わってからも、ノート片手に矢継ぎ早に質問をされると



いう歴史好きの方もおられ、鋭い質問に嬉しい悲鳴を上げました。

頂いたアンケートの回答のなかで、「今まで、名前ぐらいしか知らなかったのに、具体的に説明していただきまして理解ができました」(70代・男性・八尾市)、「実物があるのは分かりやすくいいと思いました」(70代・男性・西宮市)などと、評価をいただいたようです。

(写真上から、展示会場の府立中央図書館1階の様子、扇谷が発見した楠正行像賛の説明の様子、東大阪市出身の田辺聖子さんが読売新聞に寄稿した楠正行こと挙げの提唱記事を説明する扇谷)

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)